



CHAPTER 1

Cisco TelePresence Touch 12 のナビゲーションの基本

内容

次の各項では、Cisco TelePresence Touch 12 の理解を深めるのに役立つ情報について説明します。

- 「プライマリおよびセカンダリ ボタンバー」 (P.1-1)
- 「数字キーパッド」 (P.1-6)
- 「標準および特殊文字キーボード」 (P.1-6)
- 「Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン」 (P.1-8)

プライマリおよびセカンダリ ボタンバー

プライマリおよびセカンダリ ボタンバーは、Cisco TelePresence Touch 12 のメインナビゲーションツールです (図 1-1 を参照)。選択したボタンは青色で表示されます。表 1-1 に、ボタンの機能が記載されています。

プライマリ ボタンバー

プライマリ ボタンバーはデフォルトです。次のオプションから選択します。

- Meetings
- Call
- Presentation
- More

セカンダリ ボタンバー

[More] ボタンをタップすると、次の一連のボタンがセカンダリ ボタンバーに表示されます。

- Settings
- Recordings
- Media Player
- Doc Cam
- Self View
- Status

図 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタンバー

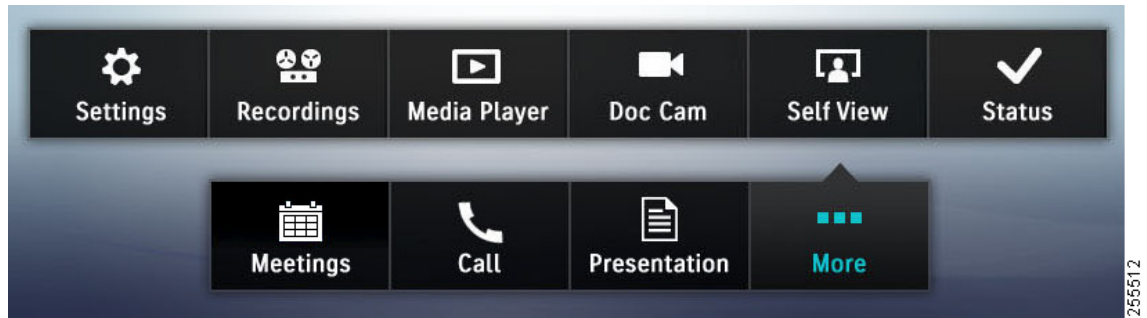


表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン

ボタン	機能
Meetings 	タップして、スケジュールされた会議のリストを確認します。 カレンダーの確認 を参照してください。
Call 	タップして、コールを発信するための各メニュー、 Keypad 、 Directory 、または Favorites を表示します。 ヒント [Directory] タブと [Favorites] タブは、管理者がディレクトリリストまたはお気に入りリストを設定している場合のみ表示されます。[Keypad] タブは常に表示されます。 [Call] ウィンドウを閉じるには、右上隅にある [X] をタップします。 コールの開始 を参照してください。
Presentation 	タップして、ビデオ共有、画面の PiP 配置、ビデオの入力ソースなどの会議のプレゼンテーションを制御します。 ヒント PiP 制御は、コール中、およびプレゼンテーションデバイスが共有されている場合のみ使用できます。 [Presentation] ウィンドウを閉じるには、右上隅にある [X] をタップします。 プレゼンテーションの共有 を参照してください。
More  	[More] をタップして、セカンダリ ボタンバーを表示します。セカンダリ ボタンバーを閉じるには、[Less] をタップします。 ヒント セカンダリ ボタンバーを閉じるには、ボタンバーの外側の任意の場所をタップします。プライマリ ボタンバーは常に表示されます。 プライマリおよびセカンダリ ボタンバー を参照してください。

表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)

ボタン	機能
Settings 	<p>タップして、システム設定を管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Incoming Calls] : Auto Answer を制御し、呼出音の形式を選択します。呼出音は、変更できるようにシステムが設定されている場合のみ変更できます。 [Meeting Volume] : 会議、スピーカ、およびヘッドセットの音量を制御し、スピーカまたはヘッドセット (使用可能な場合) 間の音声モードを選択します。 <p>ヒント コールの音量は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを使用して制御することもできます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> [Media Volume] : Media Player (DMP) およびプレゼンテーション音声のスピーカとヘッドセットの音量を制御します。 [Appearance] : 画面の明るさを制御します。 <p>音量その他のコール設定の制御を参照してください。</p>
Recordings 	<p>タップして、ビデオの録音オプションにアクセスします。</p> <p>ヒント [Recordings] ボタンは、システムに録音機能が設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>「Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音の管理」を参照してください。</p>
Media Player 	<p>タップして、Digital Media Player (DMP) または同様のメディアデバイスを制御します。</p> <p>ヒント [Media Player] ボタンは、メディアプレーヤーがシステムに接続されていて、設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>Digital Media Player の使用方法を参照してください。</p>
Doc Cam 	<p>タップして、ドキュメントカメラのコントロールにアクセスします。</p> <p>ヒント [Doc Cam] ボタンは、ドキュメントカメラがシステムに接続されていて、設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>ドキュメントカメラを使用した共有を参照してください。</p>

表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)


ボタン	機能
Self View 	タップして、会議開始前に自分自身を確認します。 ヒント [Self View] ボタンは、アクティブ コール中でない場合のみ表示されます。 セルフ ビューの使用 を参照してください。

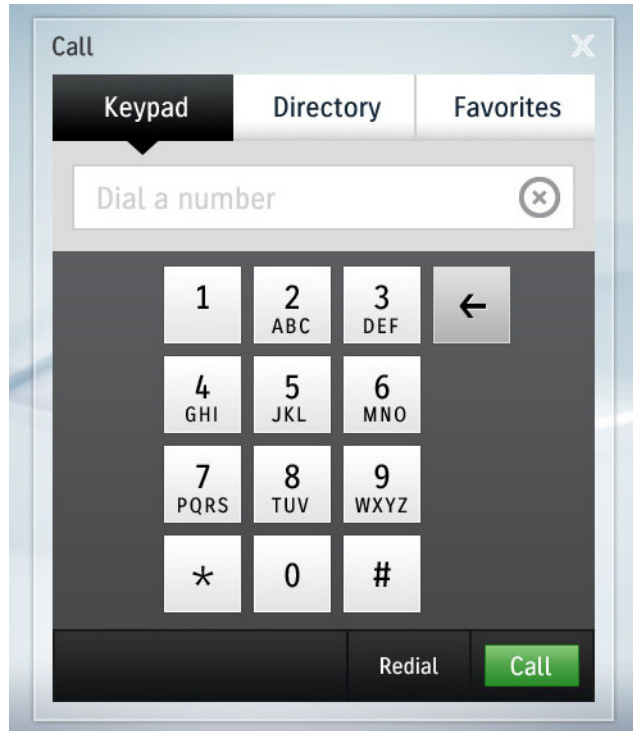
表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)

ボタン	機能
<p data-bbox="381 298 462 325">Status</p> 	<p data-bbox="722 298 1380 325">タップして、システムに関する次の情報にアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="738 346 1477 373">• [Call Status] : アクティブ コールに関する情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 394 941 422">- 画面解像度 <li data-bbox="787 436 1477 464">- セキュリティ (イネーブルまたはディセーブルのいずれか) <li data-bbox="787 478 1015 506">- ネットワーク品質 <li data-bbox="787 520 1015 548">- ネットワーク遅延 <li data-bbox="787 562 885 590">- ジッタ <li data-bbox="787 604 1015 632">- 送信ビットレート <li data-bbox="738 661 1502 751">• [System Status] : Cisco TelePresence Touch 12 および接続しているコーデックのネットワークとソフトウェアの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 772 950 800">- IP アドレス <li data-bbox="787 814 982 842">- MAC アドレス <li data-bbox="787 856 1096 884">- ソフトウェア バージョン <li data-bbox="787 898 1193 926">- コーデックのセキュリティ モード <li data-bbox="787 940 1079 968">- プライマリ DNS サーバ <li data-bbox="738 997 1502 1115">• [Peripheral Status] : システムに接続されている周辺装置のステータスです。次の非インタラクティブなアイコンは、カメラ ディスプレイ、マイク、プロジェクタ、LCD、DVI/VGA、およびドキュメント カメラのステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 1136 1429 1163">- 緑色のチェックマークは機能していることを示します。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 1262 1161 1289">- 赤色の X はエラーを示します。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"></div> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 1396 1250 1423">- ドットは不明なステータスを示します。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"></div> <li data-bbox="738 1514 1502 1604">• [Report Problem] : ドロップダウン メニューから問題の種類を選択し、支援を受けるために最近のシステム アクティビティのログを管理者に送信します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="787 1625 1088 1652">- 音声、スピーカ、マイク <li data-bbox="787 1667 1161 1694">- ビデオ、ディスプレイ、カメラ <li data-bbox="787 1709 1299 1736">- プロジェクタ、LCD、ドキュメント カメラ <li data-bbox="787 1751 958 1778">- Cisco Touch <li data-bbox="787 1793 868 1820">- 録音 <li data-bbox="787 1835 893 1862">- その他

数字キーパッド

数字キーパッド (図 1-2) は、電話番号を手動でダイヤルする、またはタッチ トーンを入力する必要がある場合にいつでも使用できます。キーパッドを使用する場合は参照してください。

図 1-2 数字キーパッド



次の各項で、キーパッドを使用する場合の例を確認してください。

- [タッチトーンの送信](#)
- [アクティブな会議への音声コールの追加](#)
- [Recording Server へのログイン](#)

標準および特殊文字キーボード

標準 (図 1-3) および特殊文字 (図 1-4) キーボードは、名前や電子メールアドレスを入力する必要がある場合にいつでも使用できます。

図 1-3 標準キーボード

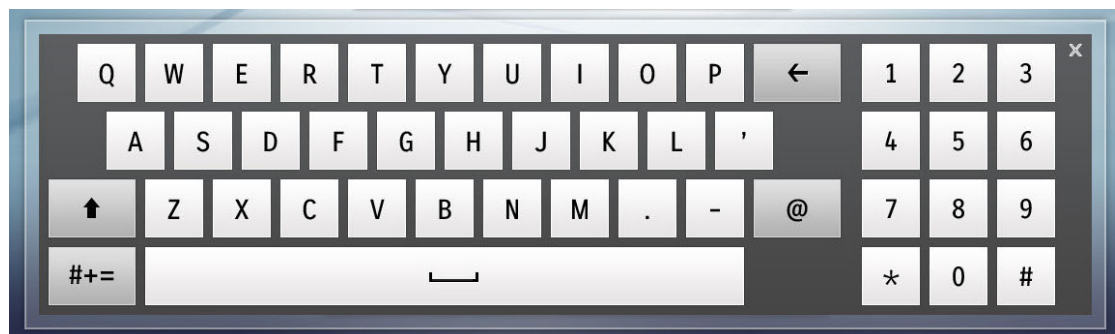


図 1-4 特殊文字キーボード



ヒント

標準キーボードと特殊文字キーボードを切り替えるには、[#+=] ボタンまたは [ABC] ボタンをタップします。

任意のタイミングでキーボードを閉じるには、[X] アイコンをタップするか、キーボード以外の場所をタップします。

次の各項で、キーボードを使用する場合の例を確認してください。

- [ディレクトリ検索を使用する場合](#)
- [Recording Server へのログイン](#)
- [会議の録音後にビデオタイトルを作成する、またはビデオの共有の電子メールアドレスを入力する。](#)

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン

図 1-5 は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを示しています。

図 1-5 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール



282490

表 1-2 は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンについての記載です。

表 1-2 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン




ボタン	機能
ライブ デスク 	ライブ デスクのサポート番号へのコールを開始するために押します。アクティブ コールはすべて保留状態になります。 ヒント ライブ デスクは、管理者によって設定されている必要があります。 ライブ デスクに電話をかける を参照してください。
Home 	設定済みの [Home] ウィンドウに戻る、またはコール中に他にナビゲートされた場合にアクティブ コールに戻るために押します。このボタンは常に青色でバックライト表示されます。

表 1-2 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン (続き)

ボタン	機能
Answer Call 	<p>Cisco TelePresence Touch 12 の画面に [Incoming Call] ダイアログが表示されているときにコールに応答するために押します。このボタンは、選択すると緑色でバックライト表示されます。</p> <p>すでにアクティブ コールがある場合、そのコールは保留状態になり、着信コールに応答することができます。</p> <p>ヒント このボタンは、アクティブ コールを終了するためにも使用できます。</p> <p>コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了を参照してください。</p>
Volume 	<p>コンソールの [Volume] ボタンを使用して、コール音量を制御します。</p> <p>ヒント システム音量を調整するには、[More] > [Settings] をタップして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Incoming Calls • Meeting Volume • Media Volume
Mute 	<p>Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Mute] ボタンを押して、自分自身と会議室全体をミュートします。このボタンは、選択すると赤色でバックライト表示されます。</p> <p>ヒント この [Mute] ボタンは、室内マイクの [Mute] ボタンと同じです。</p> <p>コールのミュートを参照してください。</p>

